

岐阜県美濃加茂市 有限会社春見ライス

- 変形労働時間制、給与年俸制、外部研修を採用し、高い定着率を維持
- GAP導入による業務の見える化と、就業環境の整備

有限会社春見ライスの概要

【所在地】岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋

【ホームページ】<https://www.kasumirice.net/>

【事業内容】水稲・トマト・果樹・野菜の生産、加工、販売

【経営面積】水稲60ha(作業受託44ha、自作地16ha)
梨0.4ha、ハウス栽培(ぶどう0.2ha、トマト0.1ha)

【従業員数】正社員12人
(その他試用期間2名、期間雇用2名)



人材の定着に向けた取組内容

【取組を行うことになった背景】

農業は、他産業と比べ長時間労働で休日を取りにくいという、農繁期の従業員の負担は特に大きい。このため、年間を通じて労働時間を調整すれば負担が軽減されると考えた。また将来の事業継承を念頭に置き、従業員がそれぞれの事業部門を担う人材となるよう、会社のルールや目標を共有する必要があった。

【取組内容】

- ◎平成23年度、農業雇用改善推進事業を活用し、社会保険労務士の指導を受け「就業規則」を作成(変形労働時間制、給与年俸制を導入)
- ◎従業員個々の特色にあわせた外部研修を取り入れ、資格取得を促す
- ◎年3回の個別面接を実施(年度初めの面接時に年間目標を個別に設定、春と夏のボーナス支給時に目標の進捗状況の確認と問題点の改善指導)
- ◎県GAPの取組みを通じ、会社のルールを従業員と相談しながら決定
- ◎クラウドを活用し、圃場や記録の管理・出退勤管理を定着させ、見える化による働き方改革を推進

【取組の成果】

就業環境や労働環境が整備され、従業員とのコミュニケーションが取りやすい環境になった。個々のモチベーションが向上し、自分のやるべきことが分かるようになってきた。経営方針や売上目標なども、作成段階から従業員と共有し決定していくようになり、経営者がこれまで一人で抱え込んできた重責から解放され肩の荷が下りた。また、従業員同士が作業状況を共有できるようになり、遅れた作業をみんなで助け合うようになった。

【従業員の評価】

他の従業員の前では言えない困りごとが言えるようになり、改善されるようになった。

【今後の目標】

従業員同士の話し合いの機会を更にふやして、楽しく、やりがいのある職場づくりを目指す。